

第6回木更津市庁舎整備検討委員会 議事概要

1. 日時 令和2年1月28日(火) 午後3時00分～午後4時00分
2. 場所 木更津市役所 駅前庁舎8階 防災室・会議室
3. 委員 北野委員長、鈴木副委員長、八木委員、湯谷委員
北村委員、滝口委員、森委員、渋江委員
4. 傍聴人 7名
5. 委員長挨拶
6. 議題
 - (1) 第5回委員会議事内容の確認について
 - (2) 庁舎整備基本構想(改訂版)の一部修正について
 - (3) 庁舎整備基本計画(改訂版)について
7. 議事録(要旨)
 - ・議題
 - (1) 第5回委員会の議事内容の確認について
 - (2) 庁舎整備基本構想(改訂版)の一部修正について

事務局説明

第5回委員会の議事内容を踏まえ、基本構想における庁舎の役割・機能などについて修正した内容等の説明を行った。

・主な意見及び質疑応答

○質疑

14ページのデメリットの中で、賃借することにより、月々の賃料の支払いを要するとあるが、これは当たり前なので、社会変化によって賃料が増加することなどの表現の方が合っていると思う。

○回答

表現を変えさせていただく。

○質疑

18ページの規模の算定のところで、基本計画のときに想定していた18,000㎡を今回の見直しで、市民協働スペース、駐車場、また防災機能の部分の3,000㎡を引いて15,000㎡にするようであるが、職員1人あたりの面積で、駅前庁舎が20数㎡、朝日庁舎はもっと狭くなる。

以前に委員から話があった、窓がなくて、職員が窮屈じゃないのかなどの心配される意見があった中で、本当にこの職員1人あたりの面積の割合でいいのかと思う。

今回、そのあたりどのように見直しされたのか。

○回答

その点は、基本計画の中で説明する。

○質疑

2、3 ページの経緯のところ、西口の活性化、民間施設を利用する等との考え方から2箇所を仮移転先としたとあるが、分庁した効果というのが記載されていない。

移転をしたことにより、こういう効果が出て、さらに中心市街地活性化などがあり、その次の段階でフレキシブルにしていくという流れがいいと思うが。

○回答

検討する。

○質疑

15 ページのポイント 3 で、旧庁舎跡地に中規模ホールが建設されるとなっているが、その進捗状況は。

○回答

公共施設再配置基礎調査プランの配置ポイントについては、あくまでも候補予定地ということであるが、中規模ホールについては、現在、基本計画の策定をしている。

○質疑

中規模ホールが建設することになった場合、敷地が広いので、他の施設との複合化も考えられるのでは。

○回答

公共施設再配置基礎調査の中間報告では、旧庁舎跡地に文教ゾーンとして、中規模ホール、広場、市民交流スペース、図書スペース、カフェ等の商業施設を整備していく予定である。

(3) 庁舎整備基本計画（改訂版）について

事務局説明

基本計画（改訂版）の施設計画、事業計画などの詳細について説明を行った。

・主な意見及び質疑応答

○質疑

延べ床面積を、前回は建設で 18,000 m²としていたが、今回は賃借で 12,000 m²としている。

複合化を見込んでいる市民交流スペース等は算定に含まないとあるが、両庁舎に市民交流スペースがある。これは、当初の市民協働スペースのイメージなのか。

○回答

少し誤解を招く表現であったと思うが、複合化施設である市民交流スペースはどのようなものか、まだこれから協議していくため、今回の算定には含まず、庁舎に必要な機能だけを算定している。

実際に賃借する面積は、算定より増えると思う。

○質疑

前回は、市民交流スペース、協働スペース、防災機能などの 3,000 m²が入った全体の事業費を算出しており、それを見直すということであるが、市民交流スペースにつ

いては、附帯施設として 2,000 m²ぐらい設けている。

中心市街地の活性化の観点から、駅前をより良くしようと今回取り組まれているので、協働スペースの 2000 m²は全て駅前というイメージと思ったのだが。

○回答

駅前の方はスペースがないので、200 m²の市民協働スペースとしているが、他に複合化施設として、図書機能を備えた市民交流スペースを計画している。

防災機能についても、前回と同様に 3%とし、それぞれの庁舎で算定している。

前回作った計画の考え方は活かしているが、起債のための総務省の計算から、より細かな国土交通省の計算に変え、職員の人数も変わっている。

○質疑

朝日庁舎の商業施設での人の賑わいの空間は、共用施設を使わせてもらうことができるので、むしろ駅前の方に多くの協働スペースを置く方が、中心市街地活性化の考えに合っていると思う。

市民協働スペースを朝日が 1800 m²、駅前が 200 m²で、駅前には、ただ管理部門を置くということでは、何が活性化するのかなと思うが。

○回答

複合化する市民交流スペースには、図書機能をつける予定である。

市民協働のスペースは、駅前には広い土地がないということを考え、こういう割り振りにしている。

○議長

再確認するが、前回の計画の 2000 m²という市民の交流スペースの面積は、見直し後の計画でも保持されているが、駅前庁舎に関しては、それに図書機能を有する市民交流スペースを新たに付加するということでよいか。

駅前庁舎の構成は、管理部門がメインであるが、そこに新たな交流スペースを持ってきて、中心市街地活性化と含めて、複合的な相乗効果をねらうというような意図であると認識しているのだが。

○回答

そのとおりである。

○議長

そうであれば、この書き方がわかりにくい。

市民協働機能の中で市民交流スペースと諸機能を有すると謳っており、面積算定の際には、その面積が入ってないとしているので、少し誤解を招くと思う。

その辺を上手く分けて明示していく必要がある。

駅前庁舎、朝日庁舎の真ん中に交流機能があるという庁舎のイメージ図は、実態を表現していない。

○回答

37 ページの図を修正し、38、39 ページもわかりやすいように明示する。

○質疑

今回、一番大きなところは、庁舎は時代の変化に合わせてフレキシブルにという大きなタイトルをつけていることだと思う。

フレキシブルでと言っているのであれば、議会のスペースの利用も考えた方がいい。議会で使われているのは4回の定例会ぐらいで、机などを動かせるようにすれば、市民が使えるような有意義な空間になる。そういう使い方を今回検討されたらどうか。

○回答

現在の駅前庁舎の議会もそのような使い方ができるようになっているが、現実的にはそのように使われていない。

今後、民間事業者と協議する際には、色々と市民利用できるような形を考えたい。

○意見

市民に貸すだけでなく、民間事業者などにも貸すことができれば、財源確保という面でもプラスにもなってくると思う。

整備し、色々と仕組みも変えなければならないこともあるので、簡単ではないと思うが、新しい取り組みとして考えていただきたい。

○議長

そうすると、少し気になるのが、基本計画の22ページなどに諸機能の写真が載っているが、木更津市は旧態依然とした内容に取り組みないと舵を切ったのであれば、前回と同じである写真でいいのかと思う。

賃借で開かれた市民サービスに寄与するということを謳っている写真が、果たしてこれでいいのかというところを、少しご検討いただきたい。

○質疑

駅前庁舎に入っている中央公民館の利用率が、以前の場所にあった時と比べ、かなり下がっている。駐車場の問題だと思うが、その辺、どう考えているか。

○回答

中央公民館については、7ページの公共施設再配置基礎プランで、第一中学校との複合化を考えている状況である。

現在6階にあるのは、あくまでも仮ということで理解願いたい。

○質疑

市庁舎の賃貸借契約が満了になり、その後、契約延長になった場合、中央公民館も同様に契約延長するのか。

○回答

中央公民館がこの先、延長するかどうかはわからない。

今後、先ほど示したプランに従って、所管部署で検討していくこととなる。

○質疑

些細なことであるが、38ページの下及び39ページ上部の文章が長いので、句点で切って簡潔にした方が読みやすい。

また、今後、パブリックコメントを行う際には、改訂した構想案・計画案だけを見

せるのではなく、見直した部分がはっきりと分かるように示した方がいい。

そうしないと市民も意見が出しにくくなると思う。

○回答

文章の長い部分は見直しする。

また、改訂する構想・計画案の概要版を作成し、パブリックコメントを行う際には、本編と合わせて示していく予定である。

○質疑

41 ページの事業計画の中の事業手法で、事業方式は民間施設の一部を賃借すると簡単に書いているが、これから木更津市がやっていこうとすることが、この一言で市民に十分理解していただけるか疑問である。

今ある施設を探していくというイメージにしか取れないので、民間事業者と協議をしながら、一緒に作り上げていくようなイメージを入れた方がいいと思う。

○回答

記載内容を検討する。

8. その他

次回以降の日程

- ・第7回委員会は2月17日（月）午後2時より開催予定。